

TOTO

小型電気温水器

湯ぽっとキット



品番 RESK06/12型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、商品を正しく取り付けただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。内容をよく理解して正しく取り付けてください。









表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。



絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

 警告	
 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
 禁止	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない 感電の原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 感電・火災の原因になります。
 アース接続	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
 アース接続	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 必ず実行	漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。
 必ず実行	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する 段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

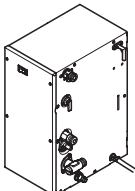
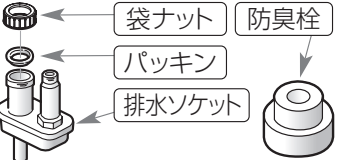
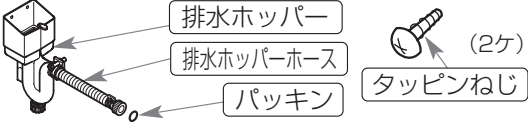
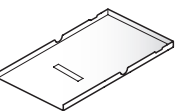



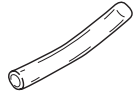
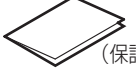



 禁止	タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。
	水道水以外は、通水しない 井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。
 必ず実行	商品に強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。
	必ず湯水が混合できる先止め水栓を取り付ける 高温の湯が出てやけどの原因になります。
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする 空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため 止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる フィルターを通したゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯 を抜く「14 機器内の水抜き方法」を参照ください 凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける 凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆる めずに、止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

- 給水圧力は最低必要水圧（流動時）0.05MPa・最高水圧（静止時）0.75MPaです。（自動水栓との接続の場合最低必要水圧（流動時）0.1MPa・最高水圧（静止時）0.75MPaです。）この圧力の範囲内でご使用ください。（0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。（銅管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。）
- 自動水栓と組み合わせて使用する場合は出湯量が少なくなる場合があります。
- シャワー水栓との組み合わせはできません。（十分なシャワー感が得られません）
- 取扱説明書の保証書に、取付店または販売店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

2 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

①電気温水器本体		②連結管一式	
	RESK06A1・RESK12A1の場合	RESK06A2・RESK12A2の場合	
	フレキ管 L=600mm(1本) L=200mm(1本) L継手 (1ケ) ニップル (1ケ) パッキン (5ケ)	フレキ管 L=600mm(3本) ニップル (2ケ) パッキン (6ケ)	
③排水ソケット一式		④排水ホッパー一式	
 袋ナット 防臭栓 パッキン 排水ソケット		 排水ホッパー 排水ホッパーホース (2ケ) パッキン タッピンねじ	
⑤漏水誘導シート	⑥コードキャップ	⑦排水ふた	⑧固定アングル一式 (注1)
			固定アングル (1ケ) (2ケ) φ4タッピンねじ 両面テープ
⑨シール(注2)	⑩補強金具一式 (注3)	⑪耐震用脚 (注3)	
	補強金具 (4ケ) すりわり付き止めねじ φ3タッピンねじ	耐震用脚 (4ケ) φ4×8タッピンねじ (4ケ) ピン (1ケ) φ4×14タッピンねじ (4ケ) アンカー (2ケ) 施工説明書	
⑫水抜きチューブ	⑬取扱説明書	⑮開閉工具	
 RESK06A1・RESK06A2の場合 (L=300mm) RESK12A1・RESK12A2の場合 (L=500mm) お客様にお渡しください	 (保証書付) お客様にお渡しください	 お客様にお渡しください	
		 (本紙) お客様にお渡しください	⑯取付日表示ラベル 

注1：RESK12A1・RESK12A2には同梱していません

注2：RESK06A2・RESK12A2には同梱していません

注3：RESK06A1・RESK06A2には同梱していません

3 準備する工具

電動ドリル	ホルソー	プラスドライバー	はさみ	袋ナット締付専用治具 TZ15L TZY15N (別売品)
ノコギリ	カッター	スパナ		

4 洗面化粧台取付可否一覧

湯ぽっとキットを取り付けるための洗面化粧台の条件

- キャビネット内に湯ぽっとキットの設置が可能なスペースがあることを確認していただき、さらに下記の条件をみたしていることを確認してください。
- (1)洗面化粧台の間口が6Lは600mm以上、12Lは750mm以上。
- (2)キャビネット底板上に設置するため、満水時の商品質量に耐える強度が必要です。キャビネット底板の強度が不足している場合は、底板を補強してください。
- (3)湯水が混合可能な水栓。
〔単水栓の場合は、混合栓への取り替えが必要になります。また、シャンプー水栓は、湯量などの問題で取り付けることができません。〕
- (4)排水トラップが床排水タイプ。(Sトラップφ32mm)
- (5)キャビネットが両開き扉タイプ。

5 別売品一覧

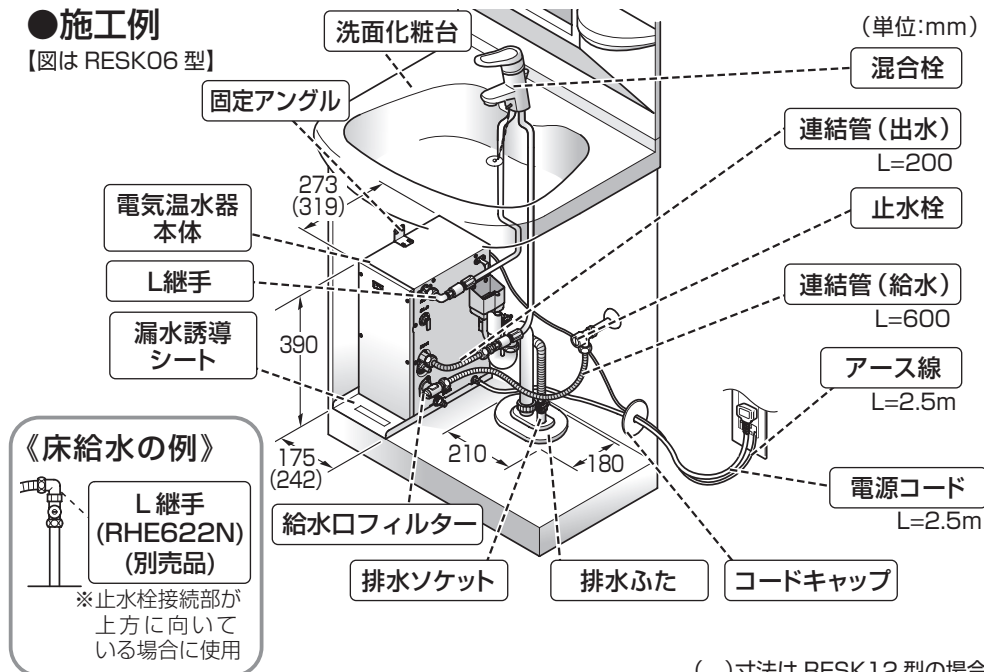
品名	品番	数量	形状	用途
排水ソケット	TH500D1	1		集合住宅用 (一般住宅用にも使用できます)
連結管 (L=850mm)	RHE140	1		標準の連結管の長さ(600mm)で足りない場合に長尺タイプを用意しています
湯ぽっと耐震用脚	RHE708 ※1	1		洗面化粧台用
L継手	RHE622N	1		P.3 「6. 各部の名称・寸法」を参照

※1 RESK12型には同梱しています。

6 各部の名称・寸法

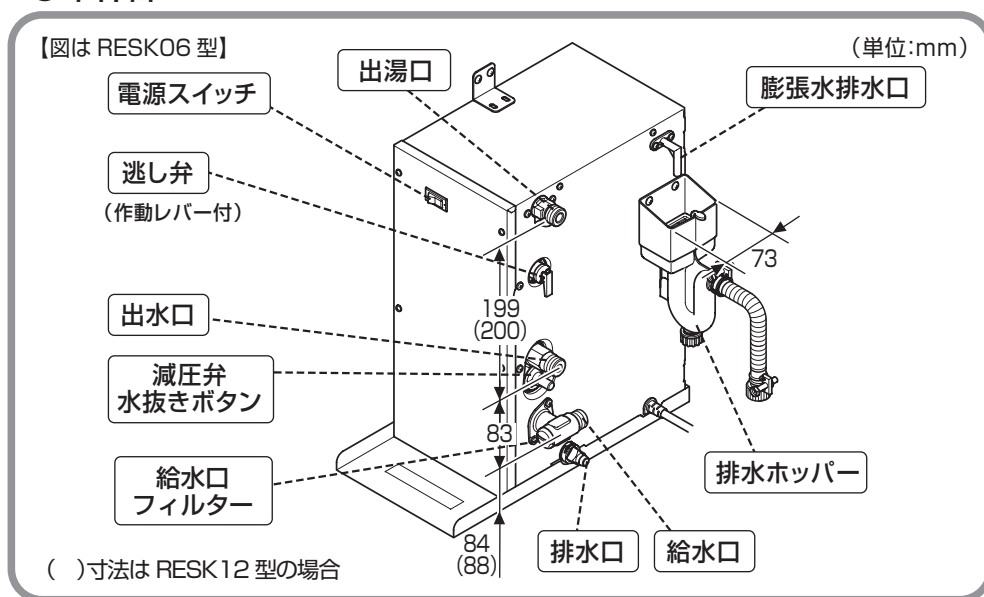
●施工例

【図は RESK06 型】

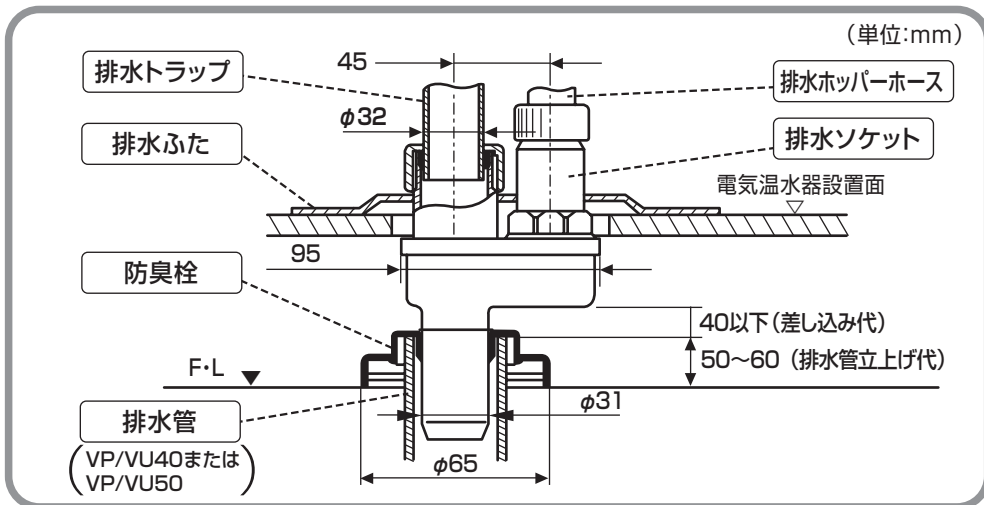


●本体部

【図は RESK06 型】



●排水部



7仕様

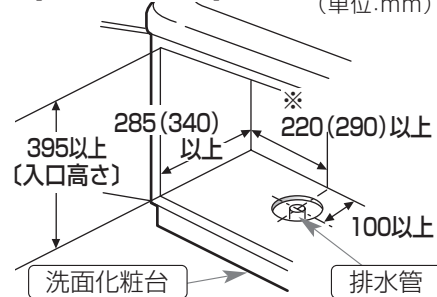
●仕様

機種	品番	RESK06型	RESK12型
貯湯量		約6L	約12L
定格	電圧	AC100V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	600W	
給水方式		先止め式	
出湯温度		約60℃	
沸上り温度		約60℃	
沸上り時間	入水温度15℃→60℃	約30分	約1時間
主要部品	ヒーター	シーズヒーター	
	減圧弁	設定値：0.08MPa	
	逃し弁	吹始め圧力：0.095MPa/ 吹止まり圧力：0.087MPa以上	
安全装置	温度調節器	バイメタル式	
	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル、温度ヒューズ	
商品寸法 (幅×奥行×高さ)		175mm×273mm×390mm	242mm×319mm×390mm
商品質量(満水時)		約6kg(約11kg)	約7kg(約19kg)
電源コード・アース線長さ		2.5m	
使用条件	使用環境温度	1~40℃	
	使用水	水道水	
	使用水圧	最低必要水圧(流動時)：0.05MPa 最高水圧(静止時)：0.75MPa (自動水栓・TOTOエコシングル水栓接続時) 最低必要水圧(流動時)：0.10MPa 最高水圧(静止時)：0.75MPa	

8 施工前の確認

1) 設置スペースの確認

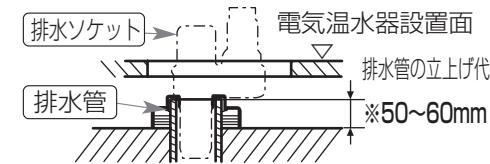
湯ぽっとキットの設置には、下記のスペースが必要です。
【図は RESK06 型】



※湯ぽっと横幅+45mm (排水ソケット取り付けに必要なスペース)
※ ()内の寸法はRESK12型の場合

2) 排水管立上げ代およびスペースの確認

排水ソケットを取り付けるため、排水管の立上げ代は、下記寸法が必要です。

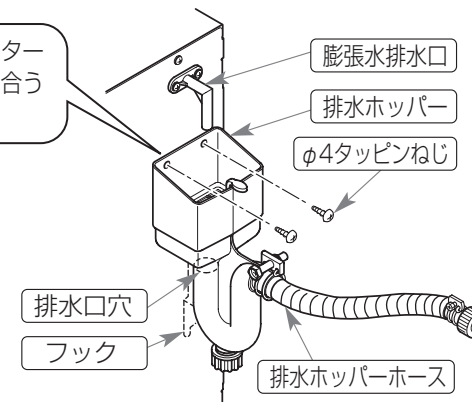


9 前作業

1) 排水ホッパーを電気温水器本体に取り付ける。

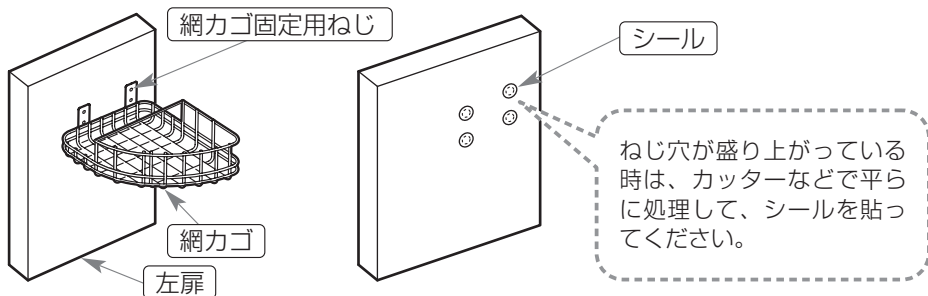
注意

排水ホッパーの排水口穴センターが膨張水排水口のセンターに合うように取り付けてください。



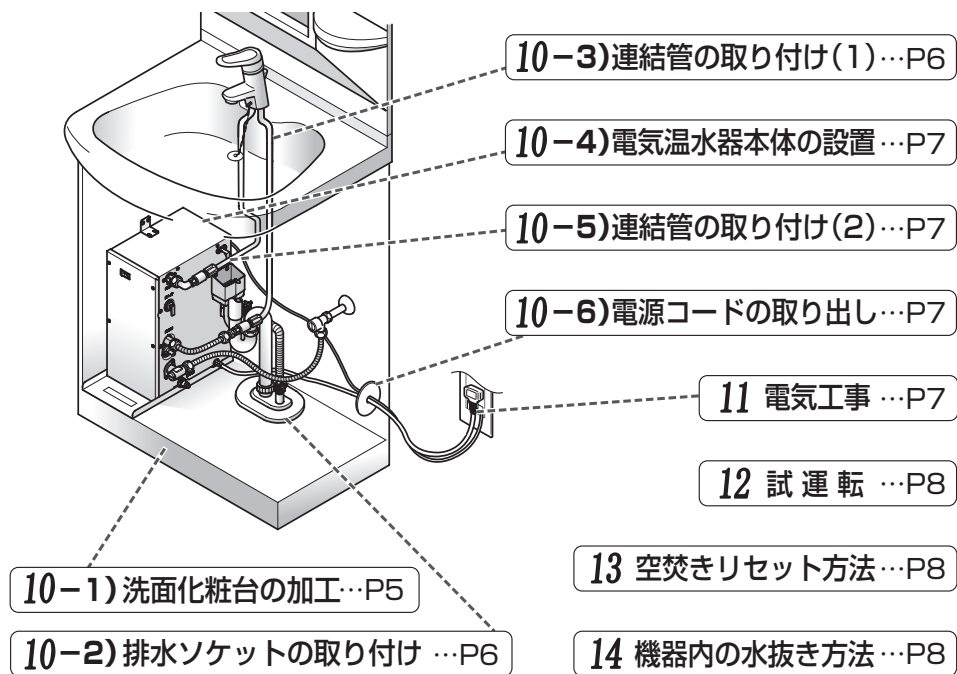
2) TOTOリモデアに湯ぽっとキットを取り付ける場合は 下記内容に注意して取り付ける。

- 左扉裏面の網カゴを取り外してください。
※網カゴは付属部品ですので取り付けていない場合もあります。
- 網カゴを固定していたネジ穴には付属のシールを貼ってください。



10 取付手順

湯ぽっとキットの取り付けは、洗面化粧台により異なります。

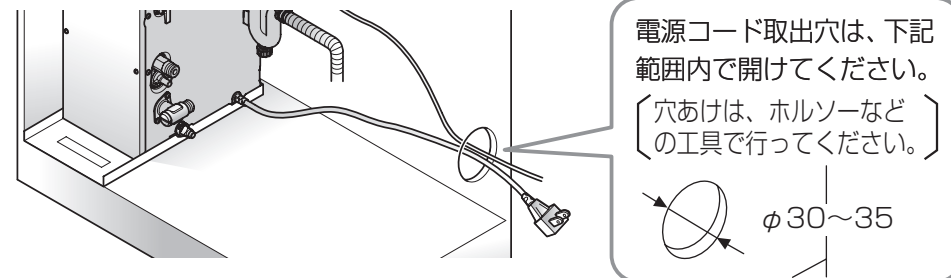


10 取付手順 (つづき)

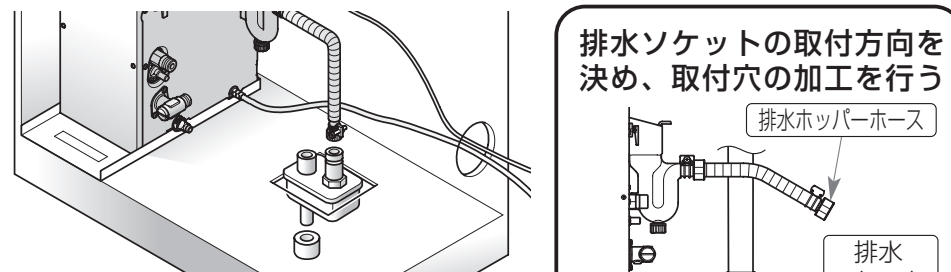
1) 洗面化粧台の加工

① 電源コード取出位置の確認および取出穴の加工

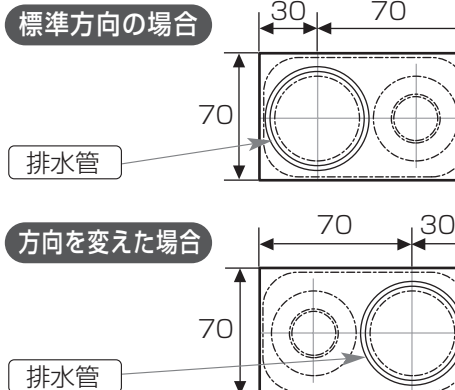
電気温水器本体を洗面化粧台に仮置きし、排水ソケットの取付方向および電源コードの取出位置を決定してください。



② 排水ソケット取付方向の確認および取付穴の加工



《取付穴寸法》



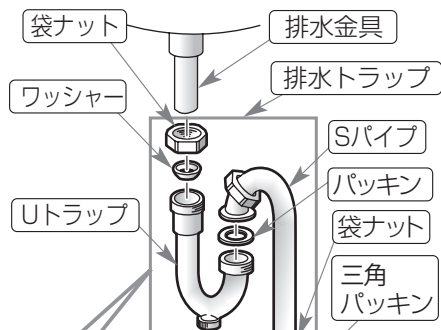
標準の取付方向で排水ホッパーホースが取り付けられない場合は方向を変える。

10 取付手順 (つづき)

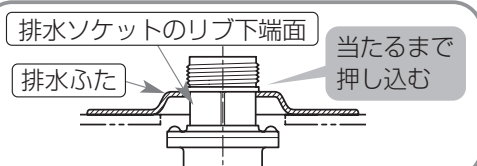
2) 排水ソケットの取り付け

下記の手順で同梱の排水ソケットを排水トラップに取り付ける。

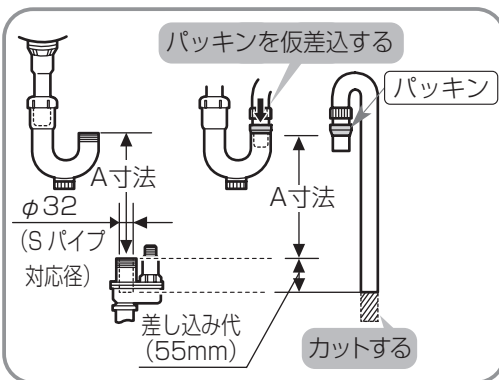
TOTOの洗面化粧台に取り付ける場合は、既設の排水トラップをそのまま使用してください。



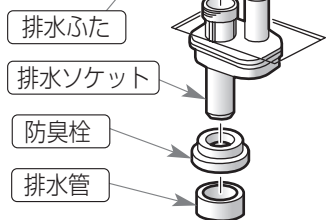
- ①防臭栓を排水ソケットに取り付け、排水管に差し込む。
- ②排水ふたを取り付ける。取り付け後、下図のように排水ソケットのリブ下端面が排水ふた上面に当たるまで排水ソケットを押し込んでください。



- ③Uトラップを排水金具に取り付け、Sパイプを仮差し込みした上でパッキンの位置を確認し、パッキンの下端～排水ソケット間の寸法(A+55)を測定しSパイプをカットする。



TOTO洗面化粧台の排水トラップ取り付け方法については、洗面化粧台の組立・設置説明書を参照ください。



- ④Sパイプに袋ナット、三角パッキンを入れ、Uトラップ排水ソケットに取り付ける。

注意

三角パッキンの方向に注意する
(三角パッキンは下図の位置に取り付ける)

排水ソケットに接続する袋ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
(水漏れの原因になります)

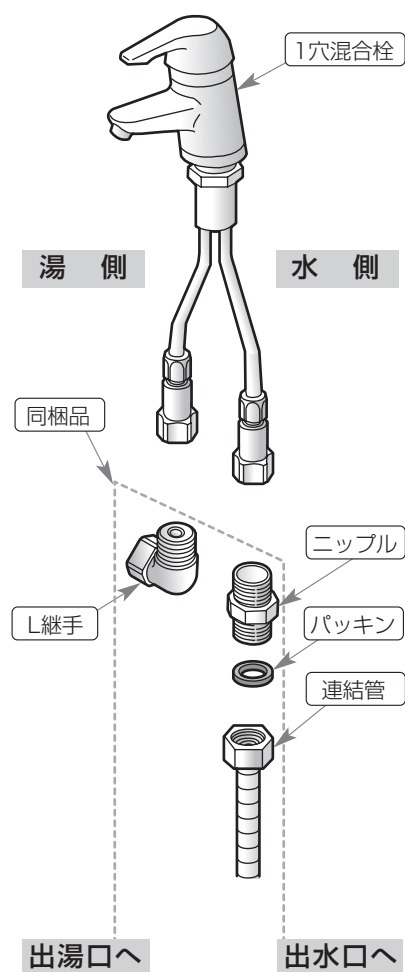
注意

排水金具が汚れている場合、タオルなどでよくふき取って取り付けてください。
(水漏れの原因になります)

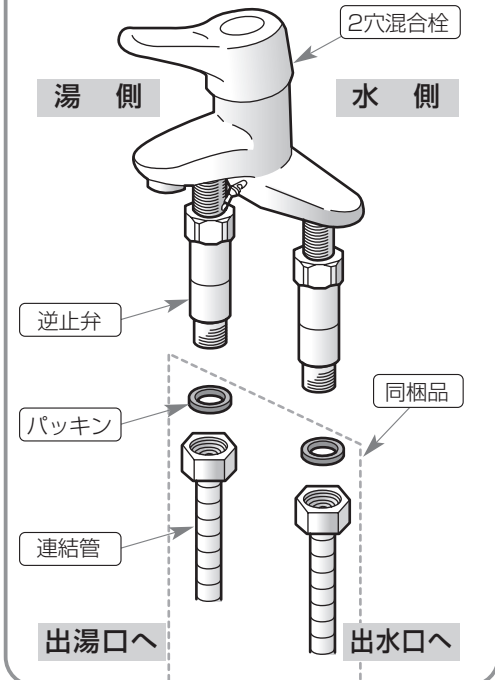
3) 連結管の取り付け (1)

下図の要領で混合栓に連結管を取り付ける。

1穴混合栓に接続する場合

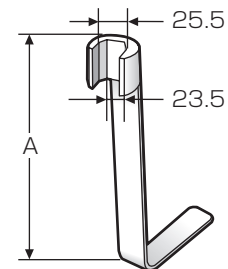


2穴混合栓に接続する場合



袋ナット締付専用治具 (別売品)

TZ15L (A寸法: 308)
TZY15N (A寸法: 192.5)



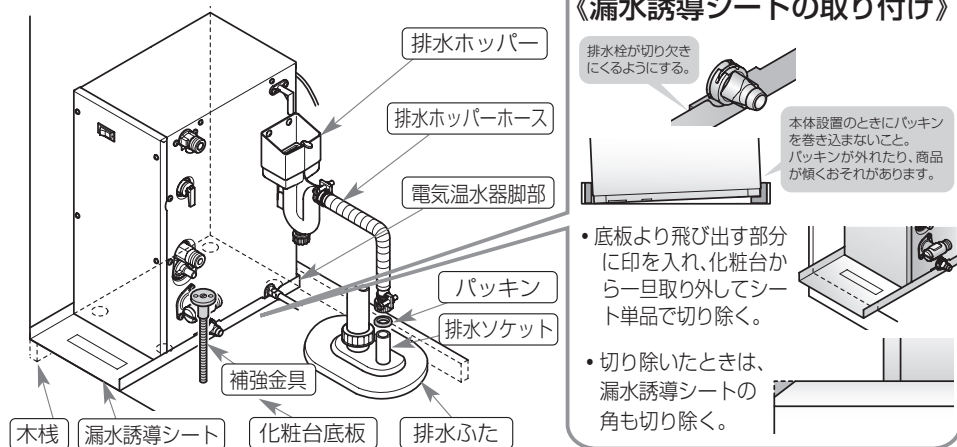
10 取付手順 (つづき)

4) 電気温水器本体の設置

満水質量が 15kg を越える場合は、下記いずれかの方法で施工してください。

- ①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。
 - ②弊社別売品(耐震用脚)を使用して施工する。(※RESK12型には同梱しています)
- ※耐震用脚別売品を取り付ける場合は、耐震用脚の施工説明書をご覧ください。

電気温水器本体を洗面化粧台に設置し、排水ホッパーの排水ホッパーホースを排水ソケットに接続する。



《補強金具の取り付け》RESK12 型のみ

※洗面化粧台の底板の強度が十分でない場合は補強金具を取り付けてください。(補強金具一式については「2 部品の確認」にてご確認ください。)

1. すりわり付き止めねじを、床からキャビネット底板の高さ (A寸法) より 10mm 短い長さで切断する。
すりわり面の反対側を切断してください。
2. 補強金具とすりわり付き止めねじをセットする。
3. 補強金具の取り付け
取り付け例
電気温水器を設置してキャビネット底板のたわみ大きい部分に補強金具を取り付ける。
補強金具の取り付け
①金具を取り付ける位置が電気温水器脚部と干渉しないことを確認する。
②補強金具の取付位置にφ12の穴加工をする。このとき、穴がキャビネット底の木さんと干渉しないよう注意してください。
③穴に金具をセットしタッピンねじで底板に固定する。
④すりわり付き止めねじが床に接するように高さを調節する。

⚠ 注意

- 排水ホッパーホースは、排水ホッパーのオーバーフロー面よりも必ず低くなるように取り付けてください。排水ホッパーから膨張水があふれ家屋に被害がおよぶおそれがあります。
- 施工したあとに通水させ、逃し弁レバーを全開にして排水ホッパーから水がオーバーフローしないことを確認してください。

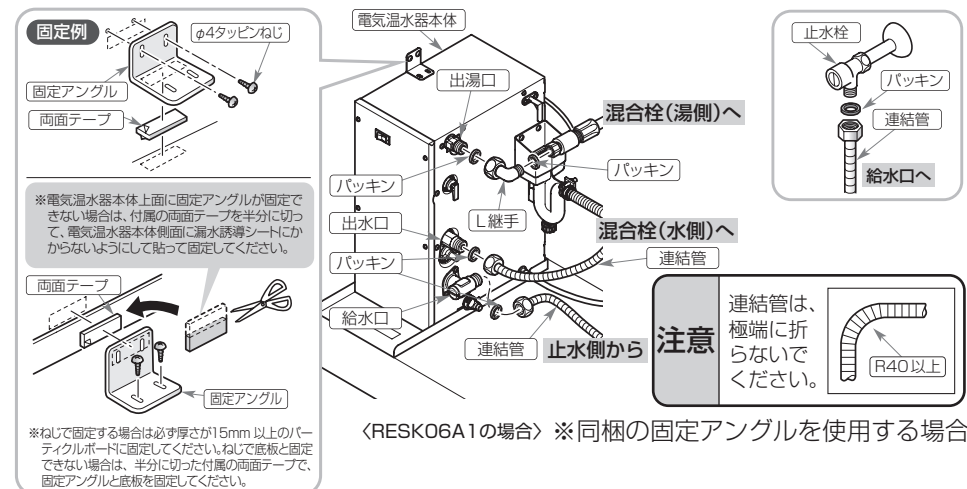
5) 連結管の取り付け (2)

⚠ 注意



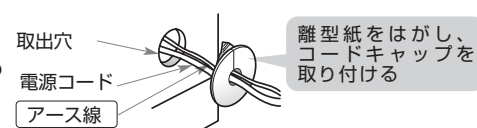
給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯 (約20L) 程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

下図の要領で連結管を電気温水器本体および止水栓に取り付ける。
※混合栓に接続した連結管は、あらかじめ曲げておくと取り付けが容易に行えます。



6) 電源コードの取り出し

電源コードおよびアース線を洗面化粧台の穴から取り出し、同梱のコードキャップを取り付ける。



11 電気工事

⚠ 警告



指定する電源以外では使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。



電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者 (電気工事士)」が行い、アース (D種接地工事 100Ω以下) 工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



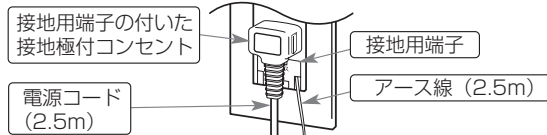
漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

①コンセントの設置

- 電気温水器の消費電力は、600W(AC100V 50 / 60Hz)です。
- ※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 電気温水器の電源コードの長さは、2.5mです。電源コードの届く範囲内に既設のコンセントがなければ、専用のコンセントを設ける。

②アース工事

- 電気温水器のアース線を接地用端子に必ず接続する。



12 試運転

⚠ 注意



タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意

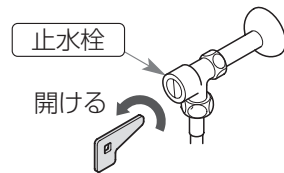
機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。

そのような場合は以下の操作を行ってください。

- 1) 逃し弁のレバーを立てて、膨張水排水口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
 - 2) 逃し弁のレバーを元に戻して、水栓を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けなくことを確認してください。
- (注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1) 電気温水器への給水

- ①電源スイッチが「切」になっていることを確認する。
- ②同梱の開閉工具で止水栓を開ける。
※給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
(湯からにおいがするおそれがあります)
- ③混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
(シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にしてください)
- ④混合栓から水が出ることを確認し、混合栓を閉める。
(タンクが満水になると混合栓から水が出ます)
- ⑤配管接続部および排水トラップからの水漏れがないことを確認する。



2) 電気温水器への通電

- ①電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。
- ③電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
(電源スイッチを「切」にするとランプは、消灯します)

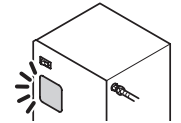


注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。
試運転後、フィルターの掃除を行ってください。
(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください)

減圧弁・逃し弁は消耗品です。
劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

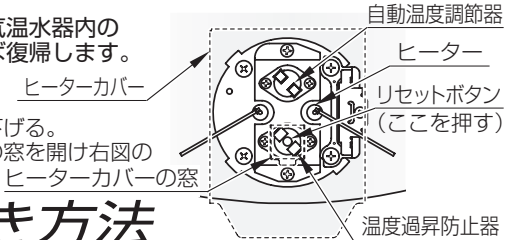
※同梱されている取付日表示ラベルにお取付け日を記入し、商品本体の見やすい場所に貼り付けてください。



13 空焚きリセット方法

万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

- ①電源スイッチを「切」にする。
- ②電源プラグを引き抜く。
- ③タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。
- ④前面パネルを取り外し、ヒーターカバーの窓を開け右図のリセットボタンを押す。



14 機器内の水抜き方法

⚠ 注意



凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。

- ①電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②混合栓の水側を開けたあとに、湯側を開け、湯が水になるまで出す。
(注)タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。閉める
- ③同梱の開閉工具で止水栓を閉める。
- ④逃し弁の手動レバーを引き上げる。
- ⑤出湯口の水抜き栓を開け、連結管内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

〔水抜き時間〕	6L	12L
	約4分	約8分

- ⑦同梱の開閉工具を使ってフィルターキャップを外し、減圧弁の水抜きボタンを押して配管内および減圧弁内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑧排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑨水抜きが完了したら逃し弁の手動レバーを元に戻し、機器本体の水抜き栓、フィルターキャップ、排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉め、水抜きチューブを取り外す。

配管の凍結予防

- 電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。

